

事業所名		こども発達支援事業所すずらん	支援プログラム	作成日	2025 年	3 月	4 日
法人（事業所）理念		児童発達支援事業所の円滑な運営管理を図るとともに、障害児及び通所決定保護者の意思及び人格を尊重し、障害児及び通所決定保護の立場に立った適切な指定児童発達支援の提供をします。					
支援方針		障害児が日常生活における基本的動作を習得し、および集団生活に適応できるように、障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。 遊びを中心とした活動を計画し、療育を行い、集団の中での過ごし方、ルールの理解、コミュニケーション力等の獲得を図ります。					
営業時間		火～金（祝祭日除く） 9時から18時	送迎実施の有無	あり			なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	こどもの小さなサインでも心身の異変に気付けるようにきめ細やかな観察をおこないながら、生活習慣や生活のリズムを形成できるように、基本的な生活スキルの獲得ができるように支援します。		日常生活における身辺自立支援 整理整頓の支援 安心してすごせる環境提供			
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や体の使い方の習得や五感を十分に活用できるよう、遊びを通して支援をします。		コグトレ・運動遊び・ボール遊び・感触遊び			
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、情報を適切に処理できるように支援します。 身の回りの物について、形、色、音が変化する様子や大小、数、重さ、空間、時間等の概念について取得し、認知、活用できるように支援します。		マッチング等 LAQやブロック等の指先の巧緻性を高める活動 制作活動（カレンダー、壁面、吊るし飾り）等、折り紙やハサミ、のり等を使用する活動。			
	言語 コミュニケーション	こどもたちが安心して自分の思いや考えを伝えたり、相手とのコミュニケーションがとれるように、支援します。 一人一人のこどもに寄り添い、学習に対するスキル獲得、宿題の支援をします。		ゲーム遊び、カード遊び等集団遊びを通してのコミュニケーション支援 スタッフと1対1での遊びを通してのコミュニケーション支援			
	人間関係 社会性	集団に参加するためのスキルの獲得、小集団から中集団への活動参加の支援を行います。遊びを通して、友達やスタッフの相互理解やお互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるように支援します。		公共交通機関を使った課外活動、各種施設での体験活動 ゲーム遊び、カード遊び等を等集団遊びを通して気持ちのコントロール支援			
家族支援		年3回の療育相談会 保護者懇談会、および保護者参加のレクリエーション きずノートでの細やかな相談、及び連絡体制 関係機関、医療機関受診に際しての情報提供	移行支援		城ヶ丘保育園をはじめ、通所している園との連携 小学校、特別支援学校への進学に向けた就学に関する支援		
地域支援・地域連携		城ヶ丘保育園との交流 放課後児童クラブすずらん、学童保育すみれクラブとの交流	職員の質の向上		資格取得の法定研修参加 各種委員会への参加 オンデマンド研修の実施 ケース会議の実施 関係機関への見学		
主な行事等		ランチクッキング・季節の行事活動（七夕、水遊び、ハロウィーンパーティー、クリスマス会等）					